

平成26年度

事業報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

社会福祉法人 日田市社会福祉協議会

目 次

I. 総 括	……………P1
II. 会務の運営 (法人運営部門)	……………P2～P3
III. 地域における福祉推進のための事業 (地域福祉活動推進部門)	……………P4～P8
IV. 福祉サービス利用援助事業 (福祉サービス利用支援部門)	……………P8～P9
V. 介護保険関連事業 (在宅福祉サービス部門)	……………P9～P10
VI. 施設管理運営事業 (指定管理部門)	……………P11
VII. その他の部門	……………P11～12
VIII. 26年度事業実績データ	……………P13～P32

平成26年度事業報告

I. 総括

① 法人の事業経営全般

生活困窮者や子育てを支援する新制度施行に備えて、モデル事業の受託や申請事務など年間を通して準備を進めました。また、新会計導入に向けて経理規程を改正するとともに、会計ソフト・機器を一新しました。年度後半では、地域福祉懇談会を開催し、地域の福祉関係者と生活課題等について親しく意見を交換しました。

その他、2名の正規職員を採用し職員体制を整備しました。

② 地域福祉事業部門

年度前半では、福島県内の小学生の受入れや、四国豪雨災害での職員派遣など災害支援事業に取り組みました。10月からは、生活困窮者自立促進支援モデル事業を日田市から受託し、制度の周知と支援体制の構築に取り組みました。また、ミニデイサービス（寄合い所）がここ数年2倍以上に広がる中、こうした地区社会福祉協議会の活動に必要な備品等を整備するために、共同募金（総額1,498,000円）の配分助成を行いました。

③ 介護サービス事業部門

介護サービス利用者は、全体的な傾向として要介護者の利用回数が増加し、要支援者は減少しています。収入面では、訪問介護、居宅支援が増収。通所介護は利用者総数は前年度とほぼ同数ですが、高い介護度の利用者が減少した影響で約700万円の減収となりました。

④ 指定管理事業部門

保育園運営では、子ども・子育て支援新制度施行に向けて、認可申請や職員体制の整備など諸準備を進めました。運営面では、園児の減少傾向は変わらず、年間延園児数で30名弱の減少となっています。

⑤ 法人経営

一般会計の経常活動による総収入は、寄付金、介護保険収入が減収した反面、モデル事業受託金、繰越金の繰入等による増収により、前年比約300万円の増となりました。総支出は消費増税の影響もあり事業費が増加しましたが、臨時職員人件費、事務費の削減により、約800万円の減となっています。こうしたことから一般会計の経常活動による収支差額は当初予算の見込みを上回る約3,703万円となりました。

これに施設整備及び財務活動による収支差額△1,752万円を加えた、当期の資金収支差額は約1,951万円となりました。

Ⅱ. 会務の運営（法人運営部門）

1. 役員会等の開催（予算科目：法人運営経理区分 役員報酬、旅費交通費）

会務の適切な運営に向けて経営方針の決定、事業の執行を図るために役員会等を開催しました。

【理事会】 4 回

月 日	内 容
第1回 平成26年 5月22日 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成25年度日田市社協事業実績報告について ・第2号議案 平成25年度日田市社協一般会計収支決算について ・第3号議案 平成25年度日田市社協特別会計収支決算について ・第4号議案 平成25年度日田市社協その他の特別会計収支決算について ・第5号議案 評議員の委嘱について
第2回 平成26年 9月26日 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 生活困窮者自立促進支援モデル事業の受託について ・第2号議案 平成26年度日田市社協一般会計第1回補正予算(案)について ・第3号議案 平成26年度日田市社協その他の特別会計第1回補正予算(案)について ・第4号議案 評議員の委嘱について
第3回 平成26年 12月19日 12名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 日田市社協経理規程の改正について ・第2号議案 平成26年度日田市社協一般会計第2回補正予算(案)について ・第3号議案 平成26年度日田市社協その他の特別会計第2回補正予算(案)について ・第4号議案 評議員の委嘱について ・その他
第4回 平成27年 3月16日 11名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成26年度日田市社協一般会計第3回補正予算(案)について ・第2号議案 平成26年度日田市社協その他の特別会計第3回補正予算(案)について ・第3号議案 平成27年度日田市社協事業計画(案)について ・第4号議案 平成27年度日田市社協会計予算(案)について ・第5号議案 事業廃止に伴う葬祭(祭壇)積立預金のモデル事業積立預金への移行について ・第6号議案 評議員の委嘱について ・その他

(注)出席者には書面による出席者も含まれています。

Ⅲ. 地域における福祉推進のための事業（地域福祉活動推進部門）

地区社会福祉協議会活動を通して、地域の支え合い活動を推進しました。

また、27年4月から施行される生活困窮者自立支援制度に備えて、10月から「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を日田市から受託し、生活困窮者に対する相談支援と制度の周知に取組みました。

1. 地域福祉活動推進事業

各地区社協における活動について研修や情報交換等を行うとともに、助成金を交付して活動の支援を行いました。

- ①地区社協事業への助成（予算科目：地域福祉事業経理区分 助成金支出／共募配分金事業経理区分 共募配分金事業）
地域の福祉課題解決のため次のようなモデル事業の取組みを地区社協にお願いしました。

事業名	内容	助成額
1 ミニデイ	高齢者を対象にゲームや健康体操などを通じて、介護予防や社会参加できる場として開催している。	19 地区×60,000 円 計 1,140,000 円
2 子育てサロン	未就園児とその保護者を対象に、子育てについての問題や情報を交換・共有する場として開催している。	15 地区×60,000 2 地区×30,000 計 960,000 円
3 地区社協事業助成金(共同募金配分金事業)	地区社協事業に必要な備品を整備するために、共同募金を財源に助成金を配分しました。	17 地区 計 1,498,000 円

- ②一人暮らし高齢者会食交流会への助成（予算科目：共募配分金事業経理区分 共募配分金事業）

対象：一人暮らし高齢者（地区によっては対象枠を拡げている） 主催：地区社協
内容：参加者の孤独の解消や仲間づくりを図りました。

➤ 助成実績 2,073人 × @500円 = 1,036,500円 *助成対象外 95 人を除く

- ③配食サービスへの助成（予算科目：共募配分金事業経理区分 共募配分金事業）

対象：一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など 実施者：地区社協、ボランティアグループ
内容：対象者の見守りや食生活の改善を目的に心のこもった弁当や手紙を届けている。

➤ 助成実績 3,238食 × @300円 = 971,400円

2. 市民健康福祉まつり（予算科目：共募配分金事業経理区分 共募配分金事業）

10月5日（日）にパトリア・中央公園を会場に開催を予定していましたが、大型台風の接近により開催中止となりました。被表彰者には後日、表彰状並びに感謝状を届けました。

福祉関係表彰 ・社会福祉事業関係功労賞 38名 ・模範自力更生賞 1名 ・模範介護賞 8名
・社会福祉事業協力団体 2団体 ・特別寄付者 1名、3団体 ・善行児童生徒 1団体
敬老関係表彰 ・輝く高年特別賞(100歳) 13名 ・輝く高年賞 8名 ・善意賞 3名 ・敬老賞 1名

計 73名、6団体

3. 歳末たすけあい事業 (予算科目：共募配分金事業経理区分 歳末たすけあい配分金事業)

①「歳末たすけあいチャリティーショー」11月29日(土) 会場：中央公民館、大山文化センター

チケット売上	295,800円	当日募金	51,370円	
バザー売上	150,875円	協賛寄付金	189,000円	計687,045円

②歳末たすけあい事業

高齢者・障がい者・児童等に対して、訪問や福祉事業を実施した地区社協に配分しました。

配分金額：2,250,000円 (20地区社協へ)

4. 各種相談事業 (予算科目：総合相談事業経理区分 諸謝金、旅費交通費)

- ・ 日常生活の様々な相談に応じ、適切な助言や他の機関への紹介を行いました。
- ・ 定期的な相談窓口として「心配ごと相談」及び「弁護士による無料法律相談」を実施しました。

相談員：心配ごと相談 … 民生委員児童委員、有職者（司法書士）、職員
弁護士相談 … 弁護士

開催日：心配ごと相談 … 本所：毎週木曜日 前津江：年3回
天瀬支所：毎月第3水曜日 大山支所：偶数月第3木曜日
弁護士相談 … 本所 12回 相談利用者数：93名（男44、女49）

5. 広報・啓発事業 (予算科目：地域福祉、福祉人材バンク、利用援助事業経理区分 広報費)

「社協だより」
地域福祉の啓発と市社協事業（主に地域福祉事業）への理解と協力を得るため、
広報紙を年6回発行し、市内全戸に配布しました。

ホームページの管理 HP:<http://www.hitashakyo.jp>

6. 生活福祉資金等の貸付事業 (予算科目：生活福祉資金事業経理区分 事務費)

① 生活福祉資金の貸付

➢ 27件 15,427,700円
償還期限内貸付分の償還率51.2% 償還期限を過ぎた貸付分の償還率 8.3%

② 愛の金庫資金・法外援護資金の貸付

現在は貸付を中断し、償還促進に努めています。
➢ 償還件数 21件 償還額 121,633円（内、延滞利息83,133円）

7. ボランティア活動の推進 (予算科目：V0市民活動センター事業経理区分 事業費 助成金他)

ボランティア活動に対する市民の関心を高め、ボランティア活動への参加・情報提供の拡大に努めました。

① ボランティア連絡協議会

活動費の助成（270,000円）を行い、ボランティア連絡協議会の活動を支援しました。

③ 地域ボランティア 福祉委員 572名

※福祉委員とは

地域の福祉活動を推進していくために、市社協会長から委嘱された地域のボランティア。活動の場所は、自分の住んでいる町内を主に、地区を一つの単位としています。要援護者（一人暮らしの高齢者等）に対する支援の必要性や地域の福祉課題などを早期に発見して、その解決のために民生・児童委員などと協働しています。

④ 住民参加型在宅福祉有償サービスの支援（グループの単体会計）

住民参加型在宅福祉有償サービスグループ（日田ハートクラブ、事務局市社協）が、支援を必要とする高齢者を対象に、有償（30分300円）で家事支援を行いました。

➤ 年間活動件数 1,708件 利用会員数92名 協力会員数47名

8. 福祉教育

（予算科目：共募配分金事業経理区分 共募配分金事業）

小学校（10校）・中学校（7校）・高校（3校）を福祉協力校として指定しました。

➤ 助成金額 @30,000円×20校=600,000円

9. 障がい者社会参加促進事業等

（予算科目：障がい者社会参加促進事業経理区分 事業費

障がい児長期休暇生活サポート事業経理区分 事業費）

市民に手話や点字を理解してもらい、視覚障がい者や聴覚障がい者の社会参加の促進に努めました。また、障がい児を対象に夏季休暇中の生活を支援しました。

① 手話奉仕員養成講座 11名修了

② 点字講座 一般講座 3名修了

③ 障がい者スポーツ教室等開催事業

ふうせんバレー教室を開催した。（参加者延べ156名）

④ 障がい児長期休暇生活サポート事業（20日間）

就学中の障がい児を対象に、夏季休暇中の生活を支援しました。

・実利用者13名・利用者延べ137名 ・ボランティア延べ59名 ・専任職員4名

⑤ 市報・社協だより等の点訳奉仕の支援

社協だより 年6回（奇数月） 市報 年12回（毎月1日号） その他

⑥ 市報の音訳奉仕の支援

社協だより 年6回（奇数月） 市報 年24（毎月1日、15日号） その他

10. 福祉人材バンク・高齢者無料職業紹介所事業 (予算科目：福祉人材バンク事業経理区分 事業費)

福祉職を求める方と求人する事業者との間に立ち、職業を斡旋し、福祉人材の確保に努めた。また、高齢者の職業斡旋を無料で行いました。

- ① 福祉人材バンク ・求職申込件数327人 ・有効求人数17人 ・紹介数6人 ・就職数5人
- ② 高齢者職業紹介 ・求職者数50人 ・求人数48人 ・就職数44人
- ③ 介護職場就職支援講習会 8月 2日 市内福祉施設 参加者5名
- ④ 福祉の就職フェア 8月10日 大分県社会福祉介護研修センター
- ⑤ 介護就職デイ 2014 11月 8日 マリエール 参加者22人 事業所20
- ⑥ ハローワーク出張相談 毎週火曜日 13:00~15:00

11. 生活困窮者自立促進支援モデル事業 (予算科目：生活困窮者自立促進支援モデル事業経理区分 事業費)

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、27年度からの本格的な制度施行に備えて、相談支援体制の早期構築を目的に実施しました。

事業実施期間：26年10月1日～27年3月31日

拠点整備：「ひた生活支援相談センター」をウエルピア1階に設置

職員体制：主任相談支援員1名、相談支援員1名、就労支援員1名 計3名体制

相談者数：延277名 (実数106名)

相談内容：生活費を中心に、仕事や病気、引きこもりなど多岐にわたる。534件

「支援調整会議」の開催状況

- ①26年11月12日 安定した生活を目指したケースについて
生活の立て直しを目指したケースについて
家計の見直し、生活不安の解消を目指したケースについて
- ②27年 1月20日 精神的自立へ向けた在宅生活支援を目指したケースについて
- ③27年 3月17日 一般就労を目指したケースについて
引きこもりからの脱却、社会との繋がりを目指したケースについて

(今後の課題について)

広報や地域に出向いての講義等で、セーフティネットの部分的な強化に繋がりにきめ細やかな対応が徐々に可能になっていきましたが、生活困窮者側の視点からは対応が不十分であったと思われます。今後は、連携を強化するために、ケースを通じて各機関と協力を進めていき、チーム支援としての一体感と相談者のニーズに合った対応に取り組んでいきたいと思ひます。

12. 「地域福祉懇談会」の開催

地域の福祉関係者(主に民生児童委員、福祉委員、自治会など)と生活課題や社協事業等について親しく意見を交換し、事業企画の参考にするとともに連携を深めた。

大 山地域	10月10日 (金)	13:30~16:00	参加者	12名	職員	9名
上津江地域	11月11日 (火)	19:00~20:30	参加者	25名	職員	11名
中津江地域	11月14日 (金)	19:00~20:00	参加者	20名	職員	13名
天 瀬地域	11月26日 (水)	10:00~11:30	参加者	11名	職員	9名
前津江地域	12月 8日 (月)	19:00~20:00	参加者	13名	職員	15名

13. その他

- 四国豪雨災害での災害支援(職員派遣:1名)
期間:8月11日~16日 派遣先:徳島県那賀町 内容:災害ボランティアセンター運営
- 「ふくしまっ子応援プロジェクトⅣ」への協力
福島県新地町の小学生を日田市で受け入れ、レクリエーション、日田祇園集団顔見世、宿泊などで交流、歓迎しました。
日 時:7月14日(木)~15日(金)
場 所:社協(歓迎セレモニー)→日田駅前(祇園山見学)→宿泊(羽田多目的交流館)
参加者:福島県新地町の小学5、6年生 18名 引率 2名
「ふくしまっ子応援プロジェクト」とは、福島県内の小学生を大分県に招待し、県内各地で自然体験や地元住民との交流を楽しんでもらおうとする被災地支援事業。

IV. 福祉サービス利用援助事業(福祉サービス利用支援部門)

日常生活上の様々な課題を抱えている住民に対して自立支援の充実を図るとともに、関係機関・団体との連携を深め、事業の円滑な推進に努めました。

1. 日常生活自立支援事業【あんしんサポートセンター日田】

(予算科目:福祉サービス利用援助事業経理区分 事業費)

判断能力が低下した高齢者や知的障がい・精神障がいのある方が、安心して生活できるよう、生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、日常生活上の手続援助、書類等の保管を行いました。

- 支援実施件数 332件
- 利用契約者 32名 (前年比△4名)

2. 地域包括支援センターブランチ (予算科目：地域総合相談事業経理区分 事業費)

合併周辺地域（3津江管内）において、高齢者、障がい者や子育て世帯など地域住民から総合的な相談を受けました。

- 連絡会議の開催 3回
- 相談件数 前津江支所 135件 中津江支所 177件 上津江支所 187件

V. 介護保険関連事業（在宅福祉サービス部門）

利用者の尊厳の保持を徹底し、自立支援を目的とした介護保険事業、障がい福祉サービス事業、障がい者地域生活支援事業、介護予防・生活支援事業を一体的に展開し、在宅福祉事業の増進に努めました。

1. 介護保険事業 (予算科目：各介護保険事業経理区分 事業費)

① 居宅介護支援事業

要介護状態の高齢者が必要とする介護サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。

- 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者： 3,161人

② 介護予防居宅介護支援事業

要支援状態の高齢者に介護予防サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。

- 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者： 899人

③ 訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。

- 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 12,891回

④ 介護予防訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。

- 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 4,658回

⑤ 通所介護事業

利用者に対して通所の機会を提供し、レクリエーション活動の他、身体状況チェック、入浴、給食、機能訓練のサービスを提供した。

➤ 前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

年間総利用者： 14,040人

⑥ 介護予防通所介護事業

介護予防のためにレクリエーション活動、身体状況チェック等のサービスを提供した。

➤ 本所、前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

年間総利用者： 3,950人

⑦ 福祉用具貸与事業 *本所のみ実施

電動ベッド、車椅子等の福祉用具を貸与した。

➤ 貸出中台数： 電動ベッド 47台 車イス 18台

2. 地域生活支援事業・その他

(予算科目：障害福祉サービス事業各経理区分 事業費

介護予防・生活支援事業各経理区分 事業費)

① 障がい福祉サービス事業（国の定める事業）

障がい者・見に対し、下記のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業 イ 同行援護事業 ウ 生活介護事業

年間総利用者： 2,554人

② 障がい者地域生活支援事業（市町村の定める事業）

障がい者・見に対し、下記のサービスを提供した。

ア 外出サポート事業

年間総利用者： 85人

③ 生きがい対応型デイサービス事業

前津江支所、中津江/上津江支所、大山支所、天瀬支所（2ヶ所開催）

家族介護教室 5回 開催

年間総利用者： 4,753人

④ 軽度生活援助事業

本所、上津江支所

年間総利用者： 1,263人

⑤ 外出支援サービス事業

前津江支所のみ実施

年間総利用者： 710人

VI. 施設管理運営事業（指定管理部門）

指定管理者として公益の増進のために適正な目標を持ち、地域住民に支持され協力が得られるように、公正な管理運営に取り組みました。

1. 保育園運営事業（予算科目：その他の特別会計 保育事業経理区分 事業費）

保育園児の状況(平成 27 年 3 月 1 日現在)	定員数
まえつえ保育園 21名 *前年比 +2	(45名)
いずみ保育園 39名 *前年比 -2	(45名)
ひばり保育園 22名 *前年比 0	(45名)
つづき保育園 12名 *前年比 -1	(20名)
	計 94名

2. 高齢者生活福祉センター（生活支援ハウス）運営事業

（予算科目：高齢者生活福祉センター事業経理区分 事業費）

日田市前津江高齢者生活福祉センター（10名）	居者数6名	27年3月末時点
日田市中津江高齢者生活福祉センター（12名）	居者数7名	（ ）は定員数
日田市上津江高齢者生活福祉センター（10名）	居者数3名	

3. 津江老人福祉センター運営事業

（予算科目：津江老人福祉センター事業経理区分 事業費）

➤ 年間利用者数 4,961人

➤ 高齢者教室の年間利用状況

絵手紙教室 35人	軽スポーツ教室 87人
花に関する教室 53人	ペン習字教室 29人

VII. その他の部門

1. 地域子育て創生事業（前津江）（予算科目：その他の特別会計 地域子育て創生事業経理区分 事業費）

➤ 地域子育て支援センター 開所日数 96日 年間利用者数 797名

2. トレーニング指導及びプール監視事業（予算科目：トレーニング指導及びプール監視事業経理区分 事業費）

日田市総合保健福祉センター(2階)でトレーニングの指導及びプールの監視を行いました。

➤ トレーニング年間利用者数：9,066人 ➤ プール年間利用者数：8,898人

3. 納骨堂管理事業（予算科目：納骨堂管理事業経理区分 事業費 諸謝金、消耗品費他）

昭和37年8月に竹田公園内に建立した納骨堂の納骨の状況は次のとおり。
なお、盆及び彼岸には納骨堂を開扉して供養を行いました。

26年度末納骨数 : 161体

4. 各種団体への支援事業 (予算科目：地域福祉事業、VO・市民活動センター、共募経理区分 助成金)
各種団体へ事業費を助成しました。

日田市民生委員児童委員協議会 日田市ボランティア連絡協議会 日田断酒会
日田市老人クラブ連合会 日田市身体障害者福祉協議会 日田地区盲人協会
日田市母子寡婦福祉会 第4回大分県盲人福祉(日田)大会
日田フレンドワーク家族会 日田市手をつなぐ育成会 計 1,475,000円

5. 心身障がい者福祉事業 (予算科目：福祉用具貸与事業経理区分 事業費、利用料収入)
介護保険非該当者に、電動ベッド、車いすの貸出を行いました。

機器名		26年度末現在 利用者数
1	電動ベッド	73人
2	車椅子	34人

◆料金
電動ベッド (月) 500円
車椅子 (月) 200円

6. 寄付金、会費の状況 (予算科目：法人運営事業経理区分 寄付金収入、会費収入)

① 寄付金年度別採納状況

(単位:円)

年度	香典返し寄付金		一般寄付		指定寄付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
26	152	7,235,000	23	891,153	15	1,048,000	190	9,174,153

② 社協会費年度別収納状況

一般会費は、市社協が行う事業費に充てられます。特別・法人・特別協賛会費は、
地区社協事業の助成金として全額地域に還元しています。(単位:円)

年度	一般会費 (1口200円)	特別会費 (1口1,000円)	法人会費 (1口2,000円)	特別協賛会費 (1口10,000円)	合計
26	4,450,188	6,734,960	988,000	210,000	12,383,148
	22,351口	6,735口	494口	21口	29,601口